

無差別・平等の医療と福祉
の実現をめざしています



船橋二和病院ホームページアドレス
https://www.futawa-hp.jp



船 橋 二 和 病 院
船橋二和病院健康友の会
〒274-0805
千葉県船橋市二和東5-1-1
TEL 047(448)7111(病院)
TEL 047(449)4417(健康友の会)
発行責任者 宮 野 暁
月一回発行 1部 50円

第44回 船橋二和病院健康友の会 総会 開催！

友の会の力を生かし、誰もが生き生きと 暮らせる地域づくりをすすめよう！



法典地区
初見さん・高山さん

発言を抜粋して紹介しま
す。(順不同)
**法典地区の初見さん、高
山さん**▼楽しい企画を継
続して会員間のつながりを
つくり、初めて参加しても

貴重な活動経験を 6名が発言

一人で参加しても、居心地
が良ければ友達を連れてき
てくれるしリピーターにな
る。ゲームやじゃんけん大
会、景品の用意等の工夫も
している。7名の会員拡大
ができた。

**前原・中野木地区の岩谷
さん**▼二和病院から距離
があり、役員が高齢化して
いる。二宮・三田地区と合
同で「認知症について」を
開催し大正琴も行い他団体
に呼びかけ、近所にチラシ
をまき、会員以外にも知ら
せたところ非会員も含め34



宮原院長

浦草夫会長は、お金のあ
るなしで医療に差別をしな
い、「無差別・平等」を掲
げる民医連のパートナーと
して、仲間と『いつでも元
気』誌を増やそうとあいさ
つしました。
宮原重佳院長から、経営
困難から、リニューアル計
画を一旦ストップするが、
職員の育成に力を入れ、友

5月25日(土)、健康管理センター3階
にて、地区役員など63名の参加で健康友
の会第44回定期総会が開かれました。

「戦争する国
づくり」に反対
し、社会保障や
国民生活切り捨
てにつながる大
軍拡路線をやめ
させるなど、平
和を守る運動を
強めます。

の会とともに前進していき
たいとの決意が語られまし
た。大山由紀子看護部長や
3人の研修医からも自己紹
介と挨拶をいただきました。
田勢事務局次長から23年
度の活動をふまえた24年度
の活動方針が提案されまし
た。(概要は以下)
**第1章 憲法を生かし、
核兵器廃絶と平和を守る**



二和地区
岡本さん

二和地区の岡本さん▼
3月に二和、八木が谷、大
穴・三咲、鎌ヶ谷東の4地
区合同で、池田美佳医師を
講師に「元気で年を重ねて

名が参加してくれた。
高根台地区の瀧口さん▼
健康講座や行事は、チラシ
を開催場所周辺や新興住宅
地に会員の5倍を配布、自
治会・スーパー、地区社協
の掲示板等にもポスターを
貼らせてもらい広く宣伝し
ている。木戸川散策では3
分の1が非会員だった。

唯一の戦争被爆国として
「核兵器禁止条約」に参加
し、世界をリードするよう
求めます。

**第2章 誰もが安心して
住み続けられる街づくり**
地域の諸団体との連携を
強め、社会的孤立を防ぐこ
とや生活を支えるための居
場所づくり、助け合いなど
の活動に取り組めます。
**第3章 健康づくりを促
進する**
職員と連携し健康講座や
保健大学を行い、若い世代
向けの企画にも取り組みま
す。青空健康チェック、骨
密度測定の新開を模索しま
す。

**第4章 社会保障の充実
を求め、改悪をやめさせる**
社会保障を後退させる全
世代型社会保障改革に反対
し、国保料・介護保険料値
上げ、ケアプラン有料化、
現行保険証の廃止をやめさ
す。

院所利用委員会を通じ
て、各施設利用の問題や課
題を解決するよう努めま
す。巡回バスを効果的に運
用し、NPO法人「なのは
な」の移送サービス・生活
支援を強めます。

いくために」の健康講座を
行い、135名の方が参加
した。二和町会、グリーン
ハイツ、いづみハイッ自治
会、ふたわ地区社協、二和
公民館にチラシ、ポスター
を掲示させてもらった。二
和町会では60班に回覧板を
回してくれるなど多大な協
力を得た。地域の団体と一
緒に成功させることができ
てよかった。

習志野台地区の佐藤さん
▼自分たちが講師になれ
ばとのアドバイスを受け、
役員3名で浜町公民館の
「笑いヨガ」の講座を受講
し資格を取得した。メディ
カルタウン構想の海老川上
流で「桜を見る会」を行い

**第5章 病院と協力・共
同して、よりよい医療・介
護活動**
院所利用委員会を通じ
て、各施設利用の問題や課
題を解決するよう努めま
す。巡回バスを効果的に運
用し、NPO法人「なのは
な」の移送サービス・生活
支援を強めます。

**第6章 地球温暖化や環
境破壊をくい止め、自然災
害対策強化**
温暖化と健康への影響や
環境破壊問題の学習、再生
エネルギーの拡大、災害対
策の強化のための活動に取
り組みます。

**第7章 会員が楽しく参
加できる、大きな組織に**
「入ってよかった、楽し
く役に立つ」友の会活動を
めざします。新しい層との
結びつきを探索し、担い手
づくりに努めます。
全ての議案を採択
23年度決算及び24年度予
算案、議案を深める6人の
方の発言を含め、すべての

「構想を考える市民連絡会」
の方の案内で超軟弱地盤を
見学した。
船橋市議の神子さん▼
海老川の開発問題では、当
初予算が437億円だった
ものが888億円になり、
総額は1千億円を超えるこ
とが明らかになった。その
一方で国保料が今年は75
00円値上げされ、2年ご
とに同額の値上げが検討さ
れている。

放射線科の大竹さん▼
18名の技師の内半数は女性
なので、マンモグラフィ等
は女性技師限定で対応でき
るようになった。CTが更
新され、より少ない被ばく
線量で検査ができるよう
になった。また、30年くらい
前から担当地域の「ふれあ
い」の手配りを継続、同地
域の高齢者訪問も行ってお
り、直に地域の方の声が聞
ける貴重な時間と考えてい
る。



放射線科
大竹さん

議案が採択されました。
新役員の選出、退任役員
を紹介して閉会しました。

2024年度役員体制
会長 浦 卓夫
副会長 庄 子 せつ子
田中 順一
田中 夕子
戸辺 健治
事務局長 池田 誠治
事務局次長 楠本 優
松村 真子
永井 出



原水爆禁止国民平和進行2024

二和地域の「網の目行進」は7月18日予定

核兵器廃絶を願って歩きましょう

5月6日スタートした国民平和進行は、被爆地・広島へ向けて行進中です。船橋市は7月18日(木)、鎌ヶ谷市は7月19日(金)に市内を行進します。二和地域では、7月18日に健康管理センター9時集合で「網の目行進」を実施予定です。ぜひ、一步でも、二歩でも一緒に歩きましょう。

戦争の準備ではなく平和のための外交努力を

4月10日に発表された日米首脳の共同声明は、米軍と自衛隊を一体化し、世界中でアメリカといっしょに戦争をする宣言と言っても過言ではありません。しかも、それは核戦争も排除していない危険なものです。脅威を煽って軍備を増強するのではなく、憲法9条にもとづいて平和外交に徹し、世界をけん引することこそ日本政府がすべきことではないでしょうか。

核兵器禁止条約 日本こそ参加を!

唯一の戦争被爆国として、日本が核兵器禁止条約に参加し、核兵器のない世界をめざす運動の先頭に立つよう求めていきましょう。



熱中症の初期症状

「めまい」「体のだるさ、

予防策は無数にありますが、とにかく『適切な』水分管理をお願いします。実際に診療にあたる、春の終わりや夏場になっても飲水量は「一日にコップ3〜4杯です」という

熱中症の予防

船橋二和病院研修医 江袋仁哉

熱中症について

三三医療講座

統計のある1966年から2023年の57年間で、千葉県の7月の平均最高気温は26.8度から32.4度と5.6度、8月は4.3度も上昇しています。昨年の7月、8月は平均最低気温で25度を超えました。熱中症はみなさまがご存じの通り、体内に熱が「こもる」とで起きますので、これだけ気温が上昇すると当然熱中症も起こりやすくなります。



方がたくさんいらっしゃいます。まずは高齢の方で1日に1〜2回、若い方は2回(食事等からの摂取含む)がひとつの目安になりますので、本日から意識してみてください。糖尿病、高血圧症、腎不全、あるいは心機能が十分でないといった条件に当てはまらない方は、塩分・糖分・ミネラルがバランスよく含まれるスポーツドリンクもおすすめです。

熱中症は防げる病気です。今年4月には、小学校の遠足で熱中症になった児童の両親が、教員の管理不足を認めてもらうことを目的に自治体を訴えたというニュースがありました。しっかり管理されていれば、熱中症の発症は未然に防げる病気だから改善してほしい、との願いだと思っています。今年の夏は熱中症の初期症状、適切な水分摂取量の2点を頭の片隅に入れていただくと幸いです。実際に熱中症を疑う症状がある場合には、遠慮せずお近くの医療機関を受診してください。



生き生き友の会・地域の活動

法典



5月24日(金)、里見公園のバラ見学に17人参加で行って来ました。曇り空のもと江戸川の土手を軽やかに歩き、公園に着くと満開のバラがお出迎えです。バラの香りに包まれ写真をパチリ。散策、ゲームを楽しみ、おばさん達の井戸端会議にも花が咲きました。(法典地区 初見敦子)

習志野台



5月24日(金)、膝関節痛の健康講座を開催しました。二和病院の理学療法士2人を講師に迎え15人の参加がありました。実際に医療現場で行っている運動も体験でき、参加者からは「若い先生たちに会えて良かった」「筋トレが実際にできてよかった」などの感想が。足がつった時の対処法も今後役に立ちそうです。(習志野台地区 松本純子)

鎌ヶ谷東



5月14日(火)、7人で谷津バラ園へ行ってきました。前日に降った雨で少し傷んでいましたが、世界各国800種類のバラの多さに圧倒されました。自由に散策した後、みんなで記念写真を撮って公園を後にしました。(鎌ヶ谷東地区 並木美代子)

八木が谷



5月21日(火)、健康講座「高齢者のためになる食事」を開催、36人が参加しました。二和病院の中村管理栄養士さんにお話していただき、日頃の食生活を見直すよい機会になりました。後半はサンヨー亭シャープさんの落語で久しぶりに笑い、楽しいひと時を過ごしました。(八木が谷地区 東幸子)

大穴・三咲



5月15日(水)、8人で草ぶえの丘へ。癒される広大なバラ園は、バラの育種に情熱を注いだ「ミスターローズ」こと鈴木省三氏が手掛けたとか。またヤギのポニョ親子、色鮮やかな羽を広げて迎えてくれた孔雀、童心に返り万歳をして乗ったミニ鉄道。爽やかな風と眩しい新緑にリフレッシュ出来た1日でした。(大穴・三咲地区 木崎ひろ美)

白井



5月30日(木)、西白井複合センターで白井健康友の会主催の健康講座「認知症と包括支援センターの役割について」を開催し、63人の参加がありました。認知症の予防や治療について、船橋二和病院・認定看護師の松丸さんが講演。認知症を発症し認知機能が低下すると、活動量も減少しさらに認知機能が低下するという悪循環に陥るので、そうならないための予防の重要性が強調されました。(白井地区 池田誠治)